

## 「最近の機械貿易動向(11月)～機械輸出伸び率10ヶ月連続プラス～」

日本機械輸出組合 2018.1.26

平成29年11月の機械輸出額は4兆4,674億円、対前年同月比14.6%増と、10ヶ月連続でプラスとなった。これは、①6地域向けが全てプラス成長となったこと、②自動車をはじめ、主要な20輸出業種がプラスとなったことなどによる。為替・営業日要因が5.1%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は9.5%増となった。平成29年12月の為替・営業日要因は5.5%の増加寄与要因となっているが、1月24日発表の貿易統計速報による簡易計算では12月の機械輸出は8.5%増であった。

### I 要約

#### 1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:6兆9,210億円(前年同月比[以下同じ]16.2%増、12ヶ月連続プラス)
- ② 全商品輸入額:6兆8,088億円(17.2%増、11ヶ月連続プラス)
- ③ 貿易収支:1,122億円、6ヶ月連続の黒字

#### 2. 機械貿易動向

##### (1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:4兆4,674億円(14.6%増、10ヶ月連続プラス)  
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:9.5%増(14ヶ月連続プラス)
- ② 機械輸入額:2兆3,199億円(19.9%増、9ヶ月連続プラス)

##### (2) 為替・営業日動向

2017年11月に5.1%、12月に5.5%の増加要因となる一方、2018年1月は2.6%の減少要因となる。

##### (3) 地域別動向

- ① 5ヶ月連続 6地域向け全てでプラス(図表4、5)
- ② 北米向け:11.6%増、10ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ③ 中国向け:21.6%増、13ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:21.5%増、12ヶ月連続プラス(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:11.2%増、10ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:19.3%増、16ヶ月連続プラス(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:3.1%増、5ヶ月連続プラス(図表4、5、10)

##### (4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中 20業種がプラス。そのうち18業種が二桁の伸び

##### (5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 通信機械部分品(中国、ASEAN・南アジア向け中心、5ヶ月連続輸出伸び率上位機種)、半導体製造装置(韓国・台湾、中国向け中心)等が大きくプラス
- ② 電池(中国向け中心、6ヶ月連続上位)、産業用ロボット(北米、中国向け中心、10ヶ月連続上位)等も好調に輸出が継続
- ③ 発電機、船舶等が大きくマイナス

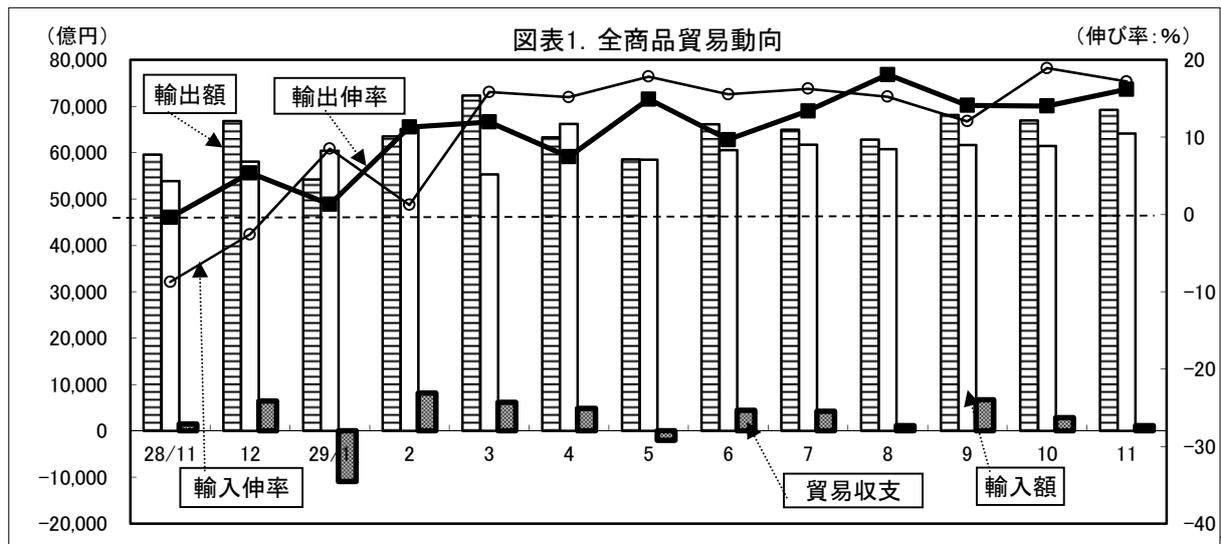
##### (6) 機械輸入動向(図表14)

- ① 機械輸入額上位12機種のうち、10機種がプラス
- ② そのうち携帯電話、電子デバイス、電子計算機をはじめ、8機種が二桁のプラス

## II 個別動向

### 1. 全商品貿易動向～輸出は12ヶ月連続プラス、輸入も11ヶ月連続でプラス～

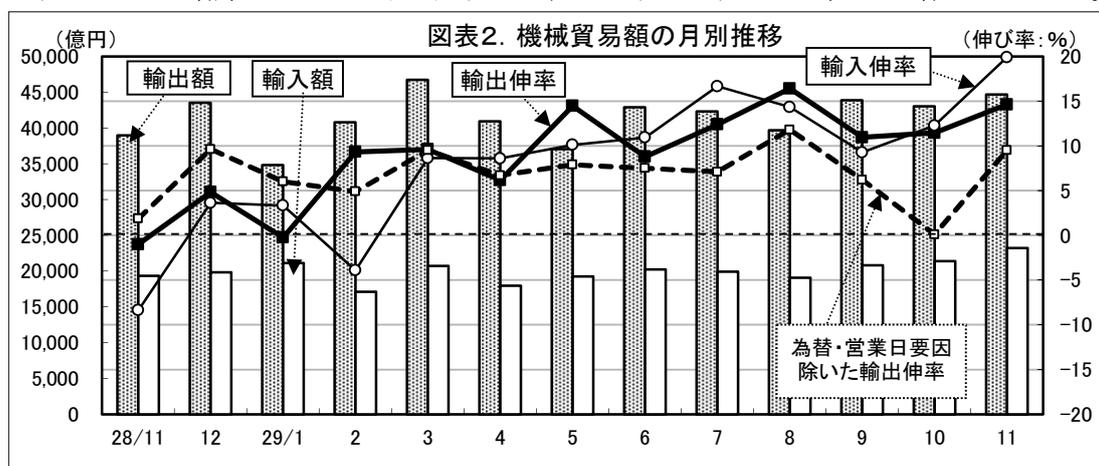
- 1) 平成29年11月の全商品輸出額は**6兆9,210億円**、前年同月比(以下同じ)**16.2%増**と12ヶ月連続でプラスとなった(10月14.0%増)。これは、全輸出額の約20%を占める一般機械(22.9%増)をはじめ、約18%を占める電気機器(16.2%増)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(19.7%増)、プラスチック等化学製品(20.0%増)等がプラスとなったためである。
- 2) 輸入額は**6兆8,088億円**、**17.2%増**と11ヶ月連続でプラスとなった(10月18.9%増)。これは、全輸入額の約20%を占める原粗油等鉱物性燃料(22.0%増)が11ヶ月連続でプラスとなったことに加え、電気機器(27.5%増)、原料別製品(22.2%増)等がプラスとなったことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、1,122億円と6ヶ月連続の黒字となった。(10月は2,846億円の黒字)。



### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～輸出は10ヶ月連続、輸入も9ヶ月連続でプラス～

- 1) 全商品輸出額の約65%を占める11月の機械輸出額は**4兆4,674億円**、**14.6%増**と10ヶ月連続でプラスとなり(10月11.4%増)、その水準は、リーマンショック前(2007年11月)と比べると**88.9%**となって、前月に比べて5.4ポイント改善した(10月83.5%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は9.5%増**であった。
- 2) 一方、全商品輸入額の約34%を占める機械輸入額は、**2兆3,199億円**、**19.9%増**と9ヶ月連続でプラスとなり(10月12.3%増)、リーマンショック前(2007年11月)の水準に比べ、33.4%増となっている。

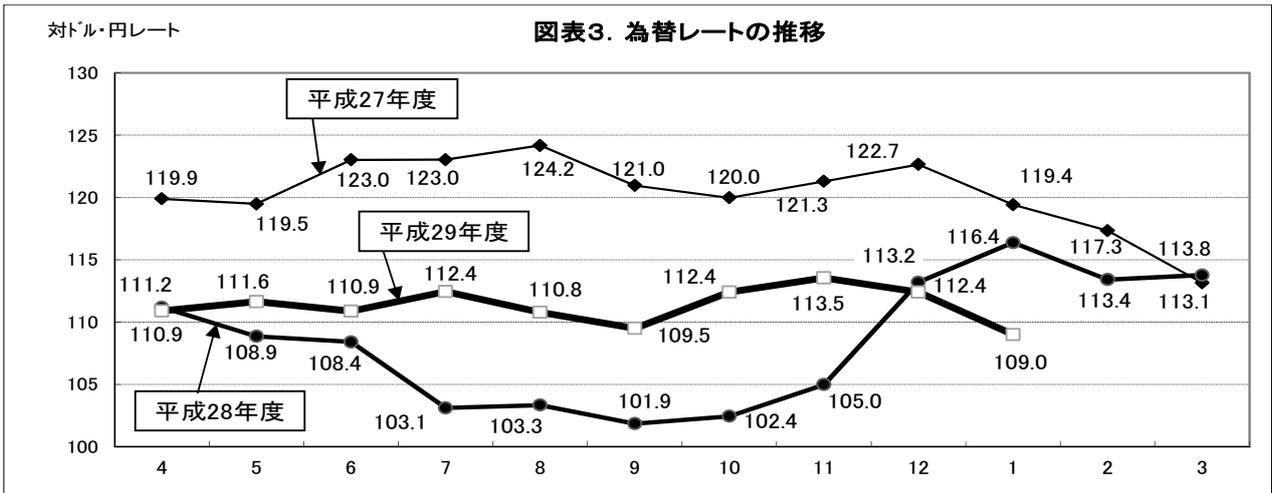


(2) 為替・営業日動向～11月は5.1%の増加要因、12月は5.5%の増加要因～

1) 2017年11月は1ドル=113.5円となり、前年に比べ8.1%の円安となった。また、対ユーロは132.8円と前年に対して15.6%の円安となり、合わせて約5.1%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約5.1%の増加要因となる。11月の輸出額は14.6%増であったことから、実質的伸び率は9.5%増と14ヶ月連続プラスとなった(10月0.1%増)。

2) 2017年12月は1ドル=112.4円で前年比0.7%の円高、対ユーロは132.8円で前年比9.9%の円安となり、合わせて約0.2%の為替増加要因となった。営業日は前年より1日多いため、5.3%の増加要因となり、合計で約5.5%の増加要因となる。

3) 2018年1月は、対ドルが1月25日17:00時点の109.0円とすれば、前年に比べて6.4%の円高、また、対ユーロは135.4円で10.6%の円安となり、合わせて約2.6%の為替減少要因となる。営業日は前年と同じため、合計で約2.6%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～5ヶ月連続で6地域向け全てがプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の25.9%を占める最大輸出先の北米向けでは、全体の約56%を占める自動車(7.4%増)をはじめ、産業機械(16.2%増)、航空機部品(7.6%増)、建設機械(64.0%増)等が増加し、11.6%増となった。②23.0%を占める中国向けでは、産業機械(37.8%増)、自動車(12.0%増)、電子デバイス(8.7%増)等が増加して21.6%増となり、③15.3%のASEAN・南アジア向けは、インドネシア(44.0%増)、ベトナム(36.5%増)、マレーシア(28.7%増)等が大きく増加し、業種では、自動車(18.7%増)、産業機械(26.7%増)、電子デバイス(21.7%増)等がプラスとなり、21.5%増となった。④11.1%を占めるEU向けは、約37%を占める自動車(11.4%増)、産業機械(18.1%増)、理化学用機器等軽機械(3.3%増)等がプラスとなって11.2%増となり、⑤10.6%を占める韓国・台湾向けは、産業機械(18.7%増)、電子デバイス(17.0%増)、自動車(28.0%増)等が増加して19.3%増となった。⑥14.0%のその他地域向けでは、アフリカ(24.1%減)、中近東(7.5%減)向けがマイナスとなったものの、大洋州(13.9%増)、ロシア東欧等(13.4%増)、中南米(10.3%増)向けが二桁のプラスとなり、機種では、産業機械(15.9%減)、船舶(13.9%減)がマイナスとなったものの、約62%を占める自動車(5.8%増)がプラスとなって3.1%増となった。

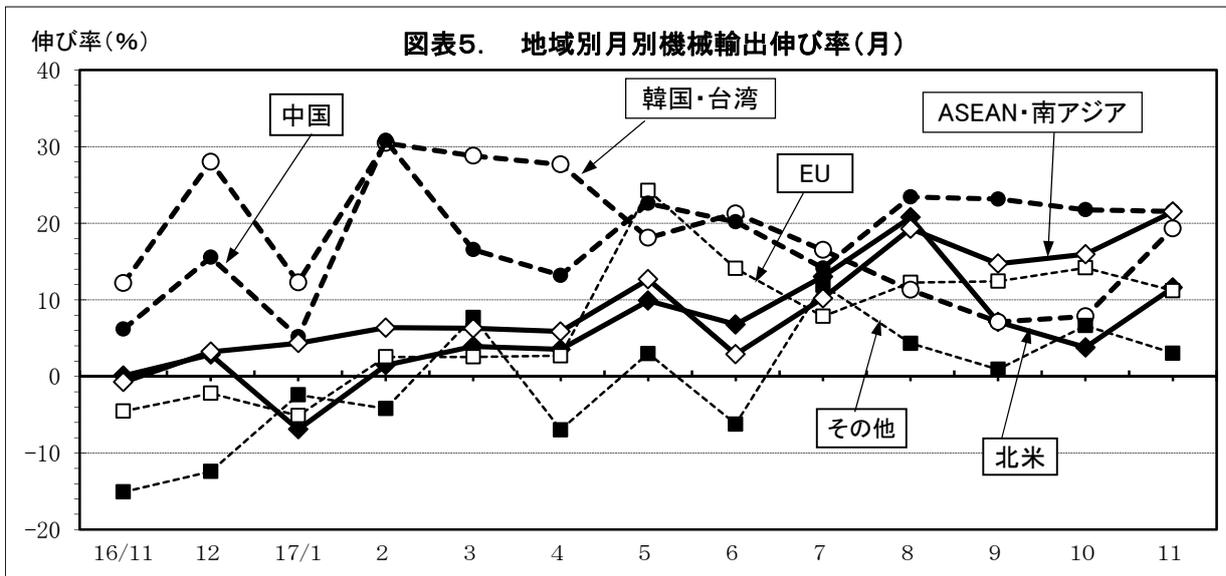
2) また、リーマンショック前の2007年10月の地域別輸出額と比較すると、中国、ASEAN・南アジア向けが100%を超え、韓国・台湾、北米向けが90%台、EU、その他地域向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2017/9			2017/10			2017/11			対07年 11月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	43,884	10.9	100.0	43,052	11.4	100.0	44,674	14.6	100.0	0.89
北米	10,696	7.1	24.4	10,499	3.8	24.4	11,583	11.6	25.9	0.92
中国	9,623	23.2	21.9	9,882	21.8	23.0	10,269	21.6	23.0	1.16
ASEAN・南アジア	6,636	14.7	15.1	6,404	16.0	14.9	6,842	21.5	15.3	1.14
EU	5,321	12.4	12.1	5,327	14.2	12.4	4,980	11.2	11.1	0.63
韓国・台湾	4,551	7.1	10.4	4,377	7.9	10.2	4,751	19.3	10.6	0.97
その他	7,058	0.9	16.1	6,564	6.6	15.2	6,250	3.1	14.0	0.62

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

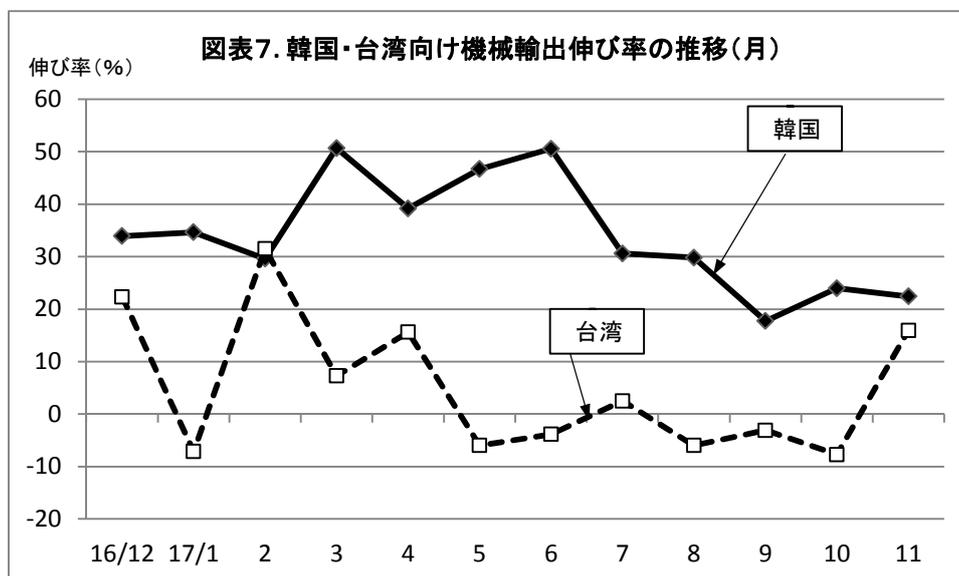


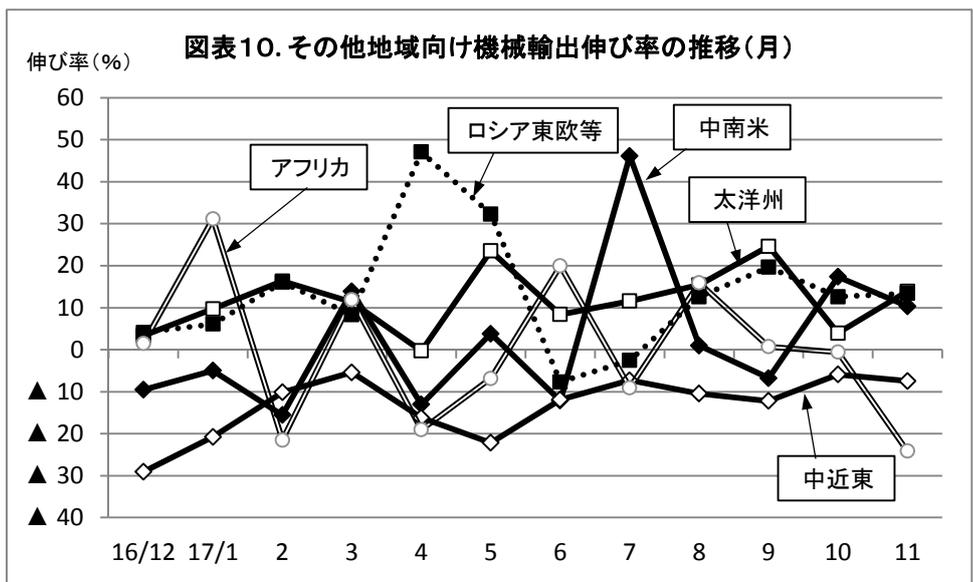
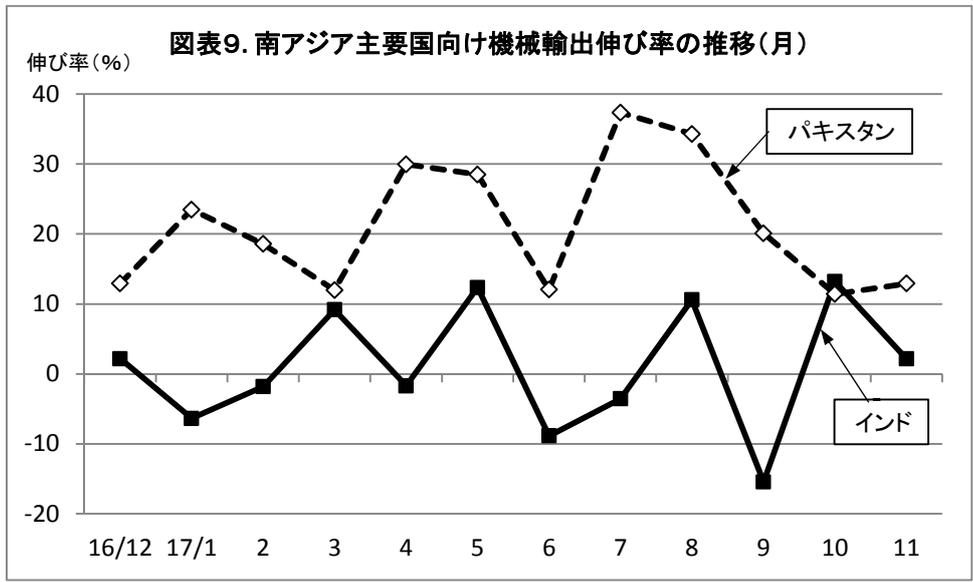
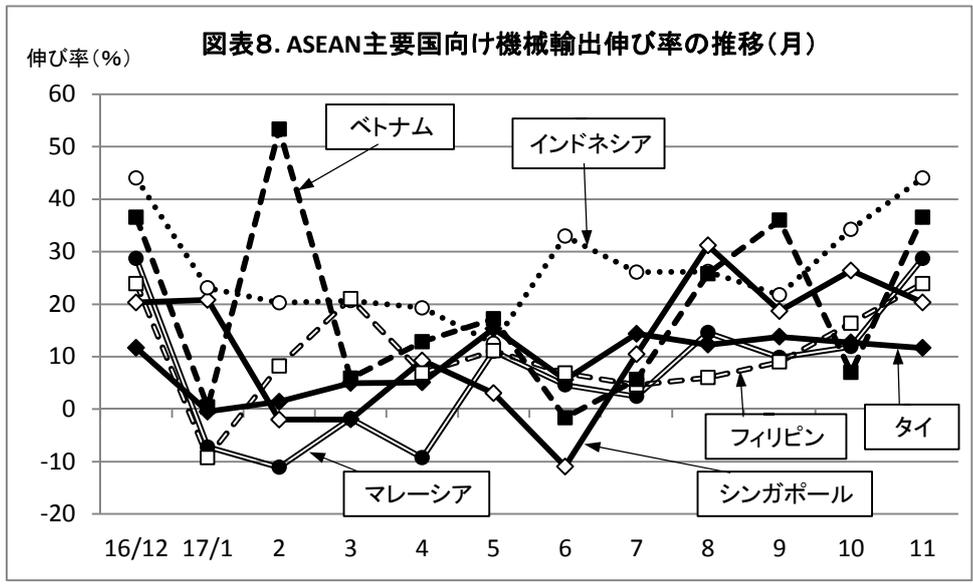
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2017/8		2017/9		2017/10		2017/11	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,402	29.8	2,457	17.7	2,474	24.0	2,564	22.4
台湾	1,860	▲ 6.0	2,094	▲ 3.1	1,903	▲ 7.7	2,187	15.9
<b>ASEAN・南アジア</b>								
タイ	1,535	12.3	1,742	13.8	1,705	12.7	1,664	11.7
シンガポール	1,146	31.2	944	18.7	908	26.4	945	20.3
インドネシア	723	26.2	805	21.7	806	34.3	922	44.0
マレーシア	634	14.6	698	9.8	692	11.9	795	28.7
フィリピン	662	6.0	703	9.0	743	16.4	760	23.9
ベトナム	724	25.8	854	36.0	727	7.0	897	36.5
インド	465	10.6	409	▲ 15.4	419	13.2	440	2.2
パキスタン	171	34.3	187	20.1	176	11.4	166	12.9
<b>その他地域</b>								
中南米	1,625	1.0	2,187	▲ 6.8	2,079	17.4	1,981	10.3
中近東	1,409	▲ 10.5	1,814	▲ 12.2	1,653	▲ 5.9	1,691	▲ 7.5
大洋州	1,179	15.4	1,368	24.6	1,258	3.9	1,160	13.9
ロシア東欧等	923	12.6	1,130	19.7	1,111	12.6	902	13.4
アフリカ	539	15.9	529	0.7	465	▲ 0.6	458	▲ 24.1

▲は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中20業種がプラス。うち産業機械等18業種が二桁の増加～

- 1)業種別では、船舶(18.8%減)を除く20業種がプラスとなり、そのうち、産業機械(20.6%増)、電子デバイス(14.1%増)をはじめ18業種が二桁の伸びとなり、機械全体で14.6%増となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、鉄道車両、軽機械、ベアリング、医療機械、産業機械、光学機械、陸用内燃機関の8業種となった(10月も8業種)。他方、民生用電子機械が30%台、電子計算機が40%台の低い水準にある。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2017/9				2017/10				2017/11				対07/11 比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	15,563	6.5	35.5	自動車	15,438	7.1	35.9	自動車	16,219	9.6	36.3	0.90
産業機械	7,635	14.4	17.4	産業機械	7,628	14.0	17.7	産業機械	8,059	20.6	18.0	1.13
電子デバイス	3,540	12.2	8.1	電子デバイス	3,446	9.0	8.0	電子デバイス	3,560	14.1	8.0	0.83
軽電気機械	2,352	14.0	5.4	軽電気機械	2,200	8.5	5.1	軽電気機械	2,263	13.6	5.1	0.86
重電気機械	2,291	22.1	5.2	重電気機械	2,154	14.6	5.0	重電気機械	2,161	15.8	4.8	0.97
軽機械	1,740	11.5	4.0	軽機械	1,691	10.7	3.9	軽機械	1,715	11.1	3.8	1.25
民生用電子機械	1,562	10.4	3.6	民生用電子機械	1,503	6.8	3.5	民生用電子機械	1,513	11.5	3.4	0.38
光学機械	1,386	8.4	3.2	光学機械	1,383	11.8	3.2	光学機械	1,425	16.3	3.2	1.08
建設機械	1,258	39.2	2.9	建設機械	1,176	38.7	2.7	建設機械	1,262	45.9	2.8	0.96
船舶	1,221	▲13.7	2.8	船舶	1,156	14.3	2.7	船舶	967	▲18.8	2.2	0.50
工作機械	771	19.9	1.8	工作機械	750	35.4	1.7	通信機械	906	53.8	2.0	0.97
通信機械	761	23.3	1.7	通信機械	738	20.2	1.7	工作機械	796	51.5	1.8	0.89
航空機部品	702	0.3	1.6	航空機部品	720	5.7	1.7	航空機部品	686	8.7	1.5	1.91
電子計算機	508	10.7	1.2	医療機械	489	14.4	1.1	医療機械	527	24.7	1.2	1.18
医療機械	507	12.6	1.2	電子計算機	471	15.1	1.1	電子計算機	523	28.8	1.2	0.42
ベアリング	432	17.2	1.0	ベアリング	425	17.6	1.0	ベアリング	429	16.2	1.0	1.23
陸用内燃機関	398	17.4	0.9	陸用内燃機関	390	25.1	0.9	陸用内燃機関	416	27.9	0.9	1.01
繊維機械	210	19.5	0.5	繊維機械	234	33.9	0.5	繊維機械	211	15.3	0.5	0.78
農業機械	201	33.2	0.5	農業機械	196	12.3	0.5	農業機械	193	22.1	0.4	0.98
産業車両	128	27.7	0.3	産業車両	123	10.4	0.3	産業車両	129	12.8	0.3	0.57
鉄道車両	97	▲17.6	0.2	鉄道車両	113	▲6.0	0.3	鉄道車両	126	12.4	0.3	1.40
21業種合計	43,262		98.6	21業種合計	42,423		98.5	21業種合計	44,089		98.7	0.89

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン  
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器  
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品  
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～通信機械部分品、半導体製造装置等が大幅増、発電機等が大幅減～

- 1)10%以上の伸び率を示した機種のうち上位10機種は、①中国、ASEAN・南アジア向け通信機械部分品(97.0%増)、②韓国・台湾、中国向け半導体製造装置(54.7%増)、③中国、北米、EU向け工作機械(51.5%増)、④北米向け建設機械(45.9%増)、⑤中国向け電池(42.1%増)、⑥北米、中国向け電子計算機(28.8%増)、⑦北米、中国向け陸用内燃機関(27.9%増)、⑧北米、EU向け医療機械(24.7%増)、⑨中国、韓国・台湾、EU向け電動機(23.8%増)、⑩北米、中国向け産業用ロボット(22.9%増)であった。
- 2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、発電機(19.6%減)、船舶(18.8%減)であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2017/9			2017/10			2017/11		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
産業用ロボット	221	52.7	通信機械部分品	427	42.8	通信機械部分品	565	97.0
通信機械部分品	420	45.6	電池	271	40.3	半導体製造装置	2,369	54.7
建設機械	1,258	39.2	建設機械	1,176	38.7	工作機械	796	51.5
磁気カード・ディスク等	161	34.6	工作機械	750	35.4	建設機械	1,262	45.9
農業機械	201	33.2	産業用ロボット	234	34.4	電池	253	42.1
その他の重電気機器・部分品	549	32.9	繊維機械	234	33.9	電子計算機	523	28.8
電動機	188	32.8	半導体製造装置	2,096	29.5	陸用内燃機関	416	27.9
電池	258	32.5	陸用内燃機関	390	25.1	医療機械	527	24.7
産業車両	128	27.7	ベアリング	425	17.6	電動機	177	23.8
原動力機械	483	27.4	バルブ・コック	450	16.2	産業用ロボット	196	22.9
機種合計	3,867	*8.8%	機種合計	6,453	*15.0%	機種合計	7,084	*15.9%

は、2ヶ月連続で上位機種 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器  
 理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター  
 その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電気機器・部分品:重電機器部分品、交通管制用機器

図表13. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2017/9			2017/10			2017/11		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	97	▲ 17.6	発電機	50	▲ 27.0	発電機	51	▲ 19.6
船舶	1,221	▲ 13.7	原動力機械	327	▲ 17.6	船舶	967	▲ 18.8
機種合計	1,318	* 3.0%	機種合計	377	* 0.9%	磁気カード・ディスク等	122	▲ 14.5
						原動力機械	470	▲ 13.0
						機種合計	592	* 1.3%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～携帯電話、電子デバイス、乗用車等が大きくプラス～

1) 11月の機械輸入伸び率は19.9%増と9ヶ月連続でプラスとなり、上位12機種のうち10機種がプラスとなった。そのうち携帯電話(87.8%増)、電子デバイス(23.9%増)をはじめ、8機種が二桁のプラスであった。上位12機種のうち、マイナスとなったのは、航空機・部品等(15.4%減)、受信変換その他送受信機器(1.2%減)の2機種であった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に携帯電話、電子計算機、航空機・部品等、白物家電、医療機械、配電機器、受信変換その他送受信機器、時計、TVの9機種となっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の42%を占める中国(24.1%増)、ASEAN・南アジア(33.2%増)、EU(17.8%増)、北米(2.7%増)、韓国・台湾(17.7%増)、その他地域(3.4%増)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2017/9				2017/10				2017/11			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,462	14.6	11.8	携帯電話	2,695	11.8	12.6	携帯電話	2,930	87.8	12.6
電子計算機	1,908	22.3	9.2	電子デバイス	2,474	24.1	11.6	電子デバイス	2,548	23.9	11.0
携帯電話	1,684	▲ 34.5	8.1	電子計算機	1,813	15.6	8.5	電子計算機	1,970	10.9	8.5
航空機・部品等	1,245	17.9	6.0	自動車部品	1,261	9.1	5.9	自動車部品	1,373	11.9	5.9
自動車部品	1,218	9.8	5.9	乗用車	1,052	13.3	4.9	乗用車	1,243	33.7	5.4
乗用車	1,067	13.5	5.1	航空機・部品等	994	▲ 10.2	4.6	航空機・部品等	1,005	▲ 15.4	4.3
医療機械	683	7.4	3.3	医療機械	682	12.0	3.2	白物家電	760	12.9	3.3
白物家電	593	13.6	2.9	白物家電	653	7.5	3.1	医療機械	730	7.5	3.1
受信変換その他送受信	569	21.4	2.7	配電機器	615	22.8	2.9	配電機器	635	19.7	2.7
配電機器	552	13.4	2.7	受信変換その他送受信	549	5.3	2.6	受信変換その他送受信	558	▲ 1.2	2.4
その他の配電制御装置	430	14.1	2.1	その他の配電制御装置	413	9.0	1.9	その他の配電制御装置	456	13.8	2.0
原動力機械	394	70.1	1.9	コンデンサー等部分品	389	11.3	1.8	コンデンサー等部分品	416	7.2	1.8
12機種合計	12,805		61.6	12機種合計	13,590		63.5	12機種合計	14,624		63.0

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械  
 ・受信変換その他送受信機器:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等